



平成28年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年5月13日

上場会社名 株式会社富士山マガジンサービス 上場取引所 東
 コード番号 3138 URL http://www.fujisan.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)西野 伸一郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理グループ長 (氏名)佐藤 鉄平 (TEL)03(5459)7076
 四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第1四半期の業績(平成28年1月1日～平成28年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	642	6.5	111	1.7	112	2.9	73	3.0
27年12月期第1四半期	603	—	109	—	109	—	71	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第1四半期	45 39	40 85
27年12月期第1四半期	46 78	— —

(注) 1. 当社は、平成26年12月期第1四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成27年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、平成27年12月期第1四半期においては新株予約権の残高がありますが、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第1四半期	3,241	801	24.7
27年12月期	2,961	726	24.5

(参考) 自己資本 28年12月期第1四半期 801百万円 27年12月期 726百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	— —	0 00	— —	0 00	0 00
28年12月期	— —	— —	— —	— —	— —
28年12月期(予想)	— —	0 00	— —	0 00	0 00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,362	14.3	184	△9.9	184	△9.9	114	△12.6	70 11
通期	2,829	19.0	382	21.8	382	21.7	236	8.8	145 12

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年12月期 1 Q	1,630,340株	27年12月期	1,627,790株
28年12月期 1 Q	一株	27年12月期	一株
28年12月期 1 Q	1,629,005株	27年12月期 1 Q	1,534,190株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、円高や株価の下落により金融市場に混乱が見られるものの、前年度に引き続き、雇用情勢に改善がみられるなど、緩やかな回復基調で推移致しました。当社サービスの基盤となる、インターネット及びブロードバンド関連の環境につきましても、着実に増加しており、平成27年12月末時点で固定系ブロードバンド契約数が約3,761万（前年同期比2.8%増）とインターネットを利用する機会が広く普及しております。また、スマートフォンやタブレット端末の利用者の増加により移動系超高速ブロードバンド契約数は約8,275万（前年同期比33.7%増）となるなど、インターネットを利用する環境は継続的な拡大基調にあります（出所：総務省電気通信サービスの契約数及びシェアに関する四半期データの公表資料）。一方、平成28年3月の雑誌の販売状況は前年同期比で約4.7%減少となりました。また、書店からの返品率は39%（前年同期比1.3ポイント減少）となり返品率も高止まりしている状況となっております（出所：出版月報平成28年4月号）。

このような環境のなか、当社は、当第1四半期累計期間においても、前事業年度に引き続き、各マーケティングチャンネルの充実、SEO対策やリテンション対策による雑誌購読者の定期購読者化、新規受注高の増加及び継続率の上昇による継続受注高増加のための各種施策を実施して参りました。さらに、WEB経由以外で新規の雑誌定期購読者数を増やすために、出版社が管理する既存の定期購読顧客の管理を当社に移管し、当社が購読顧客の獲得、管理、配達までを一括で受ける「Fujisan VCS(Fujisan Value Chain Support)」の展開及び法人顧客開拓についても、引き続き注力して参りました。

この結果、当第1四半期累計期間において総登録ユーザー数（一般購読者及び法人購読者の合計数）は2,244,716名、そのうち課金期間が継続している継続課金ユーザー（「Fujisan.co.jp」に登録しているユーザーのうち月末時点で年間定期購読、月額払い定期購読の申込みを継続しているユーザー及び当月内に雑誌を購読したユーザーの合計数で他電子書店、他社サイト経由で課金されているユーザーを除く）は484,628名となりました。

また、雑誌においては未だ黎明期にありますが、スマートフォン、タブレット端末の普及に合わせ、今後、紙媒体に並ぶ媒体となることが期待されるデジタル雑誌の取次サービスの拡大についても、引き続き注力して参りました。

この結果、当社が取り扱うデジタル雑誌数は平成28年3月末時点で2,970誌となっております。

上記の施策の結果、当第1四半期累計期間における取扱高（当社から出版社への定期購読の注文取次高、当社の仕入販売高、当社が出版社から配送業務及び広告PR業務等を受けた請負業務の取扱高の合計）は2,089,101千円、売上高は642,620千円（前年同期比6.5%増）となりました。利益面につきましては、営業利益111,065千円（前年同期比1.7%増）、経常利益112,639千円（前年同期比2.9%増）、四半期純利益73,954千円（前年同期比3.0%増）となりました。

注. 当社は単一セグメントであるため、セグメント別の業績の状況については記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第1四半期会計期間末の総資産は3,241,745千円（前事業年度末比280,655千円増）となりました。総資産の内訳は、流動資産が2,911,050千円（同278,529千円増）、固定資産が330,694千円（同2,125千円増）であり、主な変動要因は、前事業年度末に比べ現金及び預金が140,513千円増加したこと、未収入金が129,283千円増加したことによるものであります。

(負債の部)

当第1四半期会計期間末における負債合計は2,440,506千円（前事業年度末比205,545千円増）となりました。主な変動要因は前事業年度末に比べ預り金が152,764千円増加したこと、未払金が109,092千円増加したことによるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は801,238千円（前事業年度末比75,109千円増）となりました。主な変動要因は、四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が73,954千円増加したこと、新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ577千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月12日に平成27年12月期決算短信にて公表致しました業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,266,564	1,407,077
売掛金	52,461	58,524
有価証券	300,000	300,000
商品及び製品	25,684	23,987
前払費用	17,460	23,240
繰延税金資産	7,801	4,999
未収入金	964,000	1,093,283
その他	5,530	7,371
貸倒引当金	△6,981	△7,433
流動資産合計	2,632,521	2,911,050
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	561	537
工具、器具及び備品(純額)	8,953	8,064
有形固定資産合計	9,514	8,601
無形固定資産		
ソフトウェア	278,923	282,209
無形固定資産合計	278,923	282,209
投資その他の資産		
関係会社株式	1,200	1,200
敷金保証金	20,485	20,485
繰延税金資産	18,445	18,197
投資その他の資産合計	40,131	39,883
固定資産合計	328,568	330,694
資産合計	2,961,090	3,241,745
負債の部		
流動負債		
買掛金	31,068	32,861
未払金	1,067,782	1,176,874
未払法人税等	79,246	37,323
預り金	996,620	1,149,384
その他	60,243	44,062
流動負債合計	2,234,961	2,440,506
負債合計	2,234,961	2,440,506
純資産の部		
株主資本		
資本金	258,008	258,586
資本剰余金	243,008	243,586
利益剰余金	225,111	299,066
株主資本合計	726,129	801,238
純資産合計	726,129	801,238
負債純資産合計	2,961,090	3,241,745

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
売上高	603,660	642,620
売上原価	251,285	284,895
売上総利益	352,374	357,725
販売費及び一般管理費	243,146	246,659
営業利益	109,228	111,065
営業外収益		
受取利息	224	269
受取精算金	—	1,362
営業外収益合計	224	1,632
営業外費用		
支払利息	—	58
営業外費用合計	—	58
経常利益	109,453	112,639
税引前四半期純利益	109,453	112,639
法人税、住民税及び事業税	31,988	35,634
法人税等調整額	5,695	3,049
法人税等合計	37,683	38,684
四半期純利益	71,770	73,954

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は単一セグメントであるため、該当事項はありません。